

施設向け 感染対策レター

令和4年8月
第19号

川崎市保健所 感染症対策担当 編

TEL : 044 - 200-2342
Email:40kansen@city.kawasaki.jp

新型コロナウイルスの流行が世界最大規模になっており、高齢者施設や亜急性期医療機関で感染者が多数発生しています。

川崎市の入院患者病床使用率72.8%、重症患者病床使用率20.3%です。ウイルス株は、オミクロン株のみの検出であり、第32週はBA.5系統に100%置き換わっています。

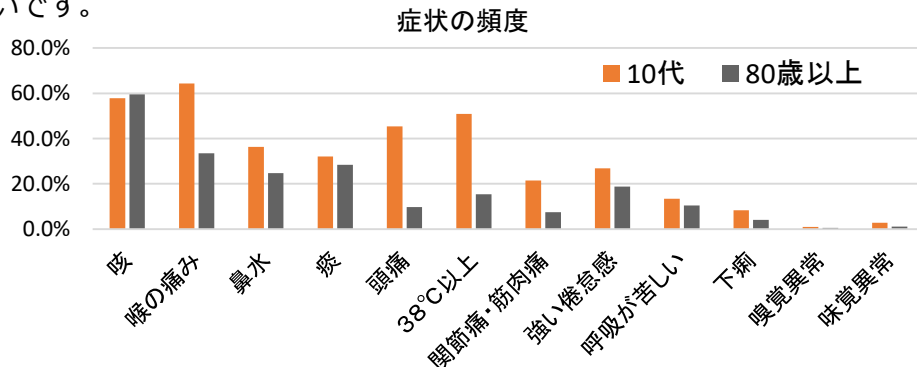
川崎市のホームページ「新型コロナウイルス感染症モニタリング状況」に掲載されています。

<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000118267.html>



オミクロン株BA.5の特徴

咳、のどの痛み、鼻水、熱など風邪やインフルエンザのような症状の人が増えています。38℃以上の発熱は、こどもの頻度は高いですが高齢者は低いです。



岸田直樹. 札幌市市中におけるオミクロン株BA.5の現状と備えVer.2より

熱がなくても、新型コロナかもしれません。
「いつもと違う」を
早く見つけて対応しましょう。

発症から症状悪化までの日数は短縮しています。

6割が3日以内で8日以降の悪化例は少ないです。

第94回（令和4年8月10日）新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリボード
資料3-9 広島県提出資料より



十分な換気を行うために



新型コロナの感染対策には、エアロゾル感染の対策（換気）も重要です。高齢者施設・障害者施設では、機械換気設備による換気が基本。

- 機械換気設備（換気扇など）の設置場所を把握していますか？
- 機械換気設備の点検はしていますか？フィルターの清掃・交換は忘れずに！
- 機械換気設備は24時間稼働していますか？
- パーテーションやアクリル板が換気を遮らないようにしましょう。
- CO₂センサー（CO₂濃度測定器）を使うことで、CO₂濃度を測定でき、換気状態を確認できます。

参考資料：

- ・高齢者施設・障害者施設における換気のチェックリスト 東京都福祉保健局
 - ・感染拡大防止のための効果的な換気について 令和4年7月14日（火）
新型コロナウイルス感染症対策分科会 内閣官房
- https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ful/taisakusuisin/bunkakai/dai17/kanki_teigen.pdf



高齢者・障害者施設での日常の対応

集団での生活

可能な限り黙食とし、黙食ができない場合は、対面での食事は控えましょう。



可能なら同室者で同じテーブルを使用しましょう。



アクリル板は必ずしも必要ではありません。



利用者がマスクを着用しない場面（入浴介助・食事介助等）では、目の保護具を着用しましょう。

十分な換気状態では集団行動は可能



引用・参考資料 神奈川県新型コロナウイルス感染症対策指針 医療・福祉編Vol.1
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/covid19/ms/guidelines.html>